

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	日々身体状況が変化する中で、出来るはずと思ひ込みによる事故を未然に防ぐにはどうしたらよいか	利用所の意思による行動を読み取る	ヒヤリハットを用いり、職員全員に伝達することにより大事故にならないよう改善策を立てる	6ヶ月
2	33	介護度が増す一方利用者も高齢となっています。ホーム側として地域t密着型グループホームでの看取り介護の認識不足がある。	ホーム側の取組みと体制の説明を家族様に再度確認をしていく。	少しの変化にも現況報告を家族に伝える。家族の意向に対して、できる限り支援をしていく。医療、家族、ホームとの連携を蜜にし対応する。	6ヶ月
3	15	過誤課程を通して利用者が、一貫した個別的な支援を受けているか（介護度が増すことに依る）	本人が発揮していない顕在能力を最大限に活用	先入観を持たず、職員で統一した支援。生活状態を正しく把握する。	6ヶ月
4	35	災害対策	訓練の実施(日中、夜間等)	常に訓練を実施していく	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。